

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	横浜修悠館高等学校	課程・学科 教育部門・学部	通信制課程 普通科
-----	-----------	------------------	-----------

1 学校のミッション

- 通信制高校として、生徒の卒業や進路等の目標の実現に応えるため、生徒の柔軟な学びを保障した教育課程により、個別最適な学びを学校全体で取り組むとともに、他校との連携等による学習発信を行う。
- 誰一人取り残すことなく、全ての生徒の可能性を引き出すための支援を実践する。
- 生徒が自分なりの考えをもち、主体的に活動ができる意欲を育む教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 社会をたくましく生き抜くための「自己肯定感」と「挑戦する力」の育成
 - ・ オンライン学習を上手に活用した「修悠館だからできる」学習活動の実践
 - ・ 安心安全な学習環境の提供及び生徒一人一人の伴走者としての学習相談・キャリア相談体制の充実
 - ・ 関係機関等との連携協力、地域参加などの様々な経験を通じた生徒活動の推進

3 計画策定時点での課題

- 通信制への入学者は全国的に増えている。本校においても同様に入学者が増加している。限られた教員、資源の中で、一人一人の生徒対応には工夫が必要である。
- 障害のある生徒、課題を抱えた生徒が年々増加傾向にある。個別最適な学びの環境を整えるためには、職員の専門的な知識と保護者等との共通認識・理解が必要である。
- 通信制であるため（生徒が毎日登校することがない）地域への理解や外部との連携等については、本校独自の方策を検討する必要がある。

4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の柔軟な学びに配慮した教育課程により、個別最適な学びを学校全体で推進 ・誰一人取り残すことなく、多様な教育ニーズに即した支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・修悠館マイページの利活用を中心に動画コンテンツ等学習コンテンツを充実させ、どの形態でも単位修得率を向上させる。 ・全生徒対象のオンラインレポートやオンラインスクーリングの実施により、個別最適な学びの方法を選択し、活動率を向上させる。
2	(幼児・児童) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安心して学べる教育環境を維持する。主体的に取り組む意識の醸成をめざした教育活動の充実 ・生徒が自己を尊重し、自らの力を十分発揮できるよう個別最適化を図り、充実した学校生活の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の特性を理解し、問題行動を予防し安全な教育環境を構築する。自ら学ぶ意欲を育むため多様な学習機会を提供する。 ・多様化する生徒状況を迅速に把握、活用し、個々に応じて自己の大切さを重んじる支援・連携体制をさらに構築する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が将来を考え、自分の適性に合った実現可能な進路選択を行い、行動できるようサポート体制の強化 ・生徒個々の可能性を広げ、社会的自立に向け、生徒が興味関心を持ち積極的に活動できる支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して進路行事の参加者を増加させ、進路希望や適性を考える機会とし、進路実現に向け取組める環境を整える。 ・生徒個々の可能性を重視し、通級指導や関係機関との連携を向上させ、様々な活動から自己理解や協働を学び、就労支援や社会的自立につなげる。
4	地域等との協働	<p>地域や近隣の小中学校等と連携し、協働の体制を構築することで、地域に貢献し、地域から信頼される学校づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や関係機関との情報交換体制をより円滑なものにし、地域と生徒双方のニーズに合った活動機会の拡充を目指す。 ・地域等との協働について、校内外への情報発信体制を構築し、参加生徒数の増加および信頼関係の構築に努める。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己実現に向けた主体的な活動をサポートする環境整備とサポート力の向上 ・教育環境の変化によりよく対応しようとする教職員体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のオンラインスクーリングの運用、オンラインレポートの作成をサポートするとともに、生徒への利便性の確保と利用を促していく。 ・防災意識の向上とともに事故防止の観点からも職場環境や学習環境をより良くするよう努める。